

# 福祉サービス第三者評価 放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書①

## 基本情報

### 【基本情報】

①施設・事業所情報 稲城市役所 児童青少年課 第四児童館・学童クラブ係 第四文化センター学童クラブ

名称：稲城市第四文化センター学童クラブ	種別：公設学童クラブ
代表者氏名：稲城市長 高橋勝浩	定員（利用人数）： 21名
所在地：東京都稲城市東長沼271番地	
TEL：042-377-4406	ホームページ：https://www.city.inagi.tokyo.jp
〔施設・事業所の概要〕定員 40名	
開設年月日 昭和58年4月25日	
経営法人・設置主体（法人名等）：稲城市役所	
職員数	常勤職員： 2名 非常勤職員 6名
専門職員	（放課後児童支援員） 2名 （放課後児童支援員） 4名
	（児童厚生員） 1名
	（教員資格） 1名
施設・設備の概要	（居室数） 育成室1室 71.30㎡ （設備等） トイレは児童館と併用
	稲城市第四文化センター内に設置

### ②理念・基本方針

遊びの指導、生活指導、学習活動の支援、健康管理・安全指導について児童の生活全般にわたって配慮していく。  
児童の指導計画に基づき、常に体系的な運営に努め、必要に応じて保護者や学校教職員と連絡をとることで児童の健全な成長を図り、児童虐待の防止や苦情対応に努める。

### ③施設・事業所の特徴的な取組

第四図書館が併設されているので、団体貸し出し制度（3週間ごとに図書館の本を50冊程度借りる）、えほんのじかん（図書ボランティアによる読み聞かせ事業への参加）、学校の長期休業期間は児童館のプレイルームを使用、野菜等を育てて収穫する、アルバムの作成など。

### ④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年9月21日（契約日） ～ 令和5年3月31日 令和5年3月31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回受審

### 【自己評価の実施】

#### ①担当者

担当者 児童青少年課長 篠崎道明

#### ②自己評価の実施体制等

育成現場の担当者及び学童クラブのクラブ長（係長）から状況の聴取を行い、当市の「学童クラブ指導事務手引き」、「稲城市第五次長期総合計画」、「第二次稲城市子ども・子育て支援事業計画」の内容に照らして所管課長が作成した。

#### ③課題等

自己評価を実施したうえで全体に関する課題や疑問などがありましたらご自由にお書きください。

令和7年度から民営化の予定しており、令和6年度中に運営事業者の選定審査、備品・設備等の点検確認を行い、運営事業者への円滑な引継ぎに向けた準備作業をして行く必要がある。本評価の結果を参考に、より良い学童クラブのあり方について研究・改善していきたい。

# 放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②

## 【共通評価基準】

### 【報告書作成にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考にしてください。
- 評価結果は、「評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

## I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が放課後児童クラブ内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、放課後児童クラブが実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた放課後児童クラブの使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
・学童クラブの運営に当たっては「学童クラブ指導事務手引」が定められ、「稲城市学童クラブ指導要領」に、法的根拠を始めとする取り扱いが示されている。学童クラブ入会時に配付する「学童クラブのしおり」は市のホームページからダウンロードができるほか、しおりでは、学童クラブの対象児童と目的が明文化され、学童クラブの育成指導が具体的に展開されている。また、入所説明会を開催し、保護者への理解を促している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、放課後児童クラブの理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

### I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
・社会福祉事業全般の動向は、東京都や厚生労働省の情報を具体的に把握し分析が行われている。また、市内の学童クラブの利用状況について具体的な統計を取っているほか、「稲城市宅地開発等指導要綱手続き状況」において人口増が想定されている地域等の情報を今後の学童クラブ施設運営に活用している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 利用者数・利用者像等、放課後児童クラブのニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、放課後児童クラブが位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に放課後児童クラブのコスト分析や放課後児童クラブ利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
・運営上の改善すべき課題や問題点について、学童クラブ部会を開催し、具体的な課題に対する改善策が検討・実施され、公営学童クラブ内の職員間で情報共有が図られている。具体的には、人員配置の見直しなどが行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
・市内学童クラブは、「第二次稲城市子ども・子育て支援事業計画」に基づき学童クラブの充実と健全な運営を目指している。また、「第五次稲城市長期総合計画」において、令和12年度までには、市内の全ての学童クラブを民営化することを目標に掲げている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
・令和5年度以降の民営化計画、3か年計画を策定している。また、単年度の具体的な計画として年間指導計画や行事計画、職員研修計画等を策定し、予算積算時には優先順位を付け予算計上を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②**  
【共通評価基準】

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
・事業計画の策定に当たっては、関係する職員等の参画により前年度の課題を検討した計画が策定されており、事業計画は職員間で周知されている。また、事業計画の執行状況は各種会議や職員ミーティングで評価が行われ、計画に見直しの必要がある場合は、本庁舎児童青少年課と協議のうえ、適宜対応が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者等で説明している。
・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護会は行えていなかったが、年間指導計画に基づく活動内容や行事予定等は、毎月発行している「学童クラブだより」において保護者に周知している。また、保護者からの質問や相談等は、電話や連絡帳を活用し共有化を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方策によって、子どもや保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

**I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組**

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
8	① 放課後児童クラブの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織的にPDCAサイクルにもとづく放課後児童クラブの質の向上に関する取組を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブの内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
・質の向上への取り組みとして有資格者の配置が行われており、具体的には放課後支援員、保育士、教員免許を有する職員が配置されている。また、年2回稲城市学童クラブ支援員研修が行われているほか、職員主導のスキルアップ研修は、研修後に参加していない全職員に情報共有し、児童の育成に活用できるように努めている。			<input type="checkbox"/>	ウ	定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	□評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	c	<input type="checkbox"/>	ア	評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	職員間で課題の共有化が図られている。
・第三者評価の受審は今年度からの実施となることから、評価結果を分析し、課題を抽出し、具体的な目標設定やスケジュールリングを行い、担当者を決め確実に改善を実施することが重要となる。つまり改善のためのPDCAサイクルをしっかりと循環させることが必要となる。また、参加者はできるだけ全員とすることが望ましい。今後、第三者評価の結果をどのように市民に公開するかなど検討が必要となる。			<input type="checkbox"/>	ウ	評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input type="checkbox"/>	エ	評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ	改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

**II 組織の運営管理**

**II-1 管理者の責任とリーダーシップ**

II-1-(1) 運営主体の責任が明確にされている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
10	① 運営主体は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、自らの放課後児童クラブの経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、自らの役割と責任について、組織内の広報誌等に掲載し表明している。
・学童クラブ指導事務手引において、運営主体の役割と方針、取り組みを明確化している。また、自施設ミーティングにおいて、管理者は自らの役割と責任を周知し、事業計画の実現に向け、職員の意見を聞きながら適切な運営を実施している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における運営主体の役割と責任について、責任者不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
・稲城市学童クラブ設置条例施行規則、稲城市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例等の法令に基づき、学童クラブ指導事務手引きおよび各種マニュアルに従い、支援が実施されている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	運営主体は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②**  
【共通評価基準】

II-1-(2) 運営主体のリーダーシップが発揮されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
12	① 放課後児童クラブの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	<input type="checkbox"/>	ア	運営主体は、実施する放課後児童クラブの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、放課後児童クラブの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
・市内の民営学童クラブの運営状況については、定期的に児童青少年課の担当係長が「民間学童クラブ巡回確認表」を基に、委託評価項目3点、確認項目4点等を確認し評価が行われている。しかし、公営の学童クラブについては特に評価が行われていないことから、民営同様の評価が定期的に実施されることが求められる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
・国の指針を参考に、学童クラブ部会において必要な情報共有を行っている。人事配置や働きやすい環境整備については、総務部人事課が要望し取り組んでいる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

**II-2 福祉人材の確保・育成**

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童支援員の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
・必要に応じて個人面談を実施するなど、職員の意向や希望を確認し、適正な人員配置、エリア内でのシフト調整、不足する場合は、有資格者を中心に職員採用に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブとして、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブの理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
・会計年度任用職員(1年毎の契約)として、以下の通り分類される。 ①第一種(常勤的非常勤) ②第二種(パート職員) 第一種は、年に1回課長による面談が実施され評価が行われる。 第二種は、勤怠評価が行われている。 健康診断やストレスチェックは全職員を対象に実施されている。 有給、時間休暇とおおむね希望どおりの取得となっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
・風通しの良い職場環境となるように努めている。福利厚生制度、適正な有給休暇取得、産休育休の制度等相談にも応じている。 職員の悩みの相談窓口は、それぞれの学童クラブを担当する係長が担っている。また、時間外労働などを縮減し、職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みが行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②**  
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が 確立されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別面接を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
・学童保育を行う者としての資格要件として、「稲城市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例」第10条(職員)第3項に放課後児童支援員の定め(従うべき基準)が設けられており、この中で支援員の資格要件が定められている。職員一人ひとりの育成に向けた取り組みとしては、これらの資格に配慮した人材育成(目標管理)が行われている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	組織が目指す放課後児童クラブを実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	現在実施している放課後児童クラブの内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、組織が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
・当初、雇用される職員は、公務員倫理研修を受講する。年に一度個人情報保護及び情報セキュリティ研修を受講し、研修終了後は、アンケートを提出している。また、令和4年度は以下の研修を実施している。 個人情報保護等に関するeラーニング研修(庁内研修) 稲城市学童クラブ支援員研修 令和4年度スキルアップ研修			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
・庁内研修、全体研修、スキルアップ研修の参加、職場内でのOJTによる職場実務を通じて知識と実践を学んでいる。 令和4年度は以下の研修を実施している。 個人情報保護等に関するeラーニング研修(庁内研修) 稲城市学童クラブ支援員研修(外部研修) 令和4年度スキルアップ研修(製作作品の紹介と実践)			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	さまざまな職員が参加して、事例検討を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	実習生等の福祉サービスの専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。
・看護学生のふれあい実習の受け入れおよび市内中学生の職場体験を受け入れている。また、実習前には、学校との打ち合わせを行い、実習生はオリエンテーションを行っている。しかし、実習生等の受け入れに関するマニュアルが整備されていないことから、今後の円滑な実習生の受け入れのためにも整備が求められる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

**II-3 運営の透明性の確保**

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ホームページ等の活用により、放課後児童クラブの理念や基本方針、提供する育成支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブにおける地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
・当該クラブは、稲城市の公設学童クラブであり、事業所の運営費は全て市の一般会計予算によって賄われている。予算書、決算書はホームページをはじめ市内図書館においても閲覧できるようになっている。また、保護者の意向や要望、苦情などは、いつでも受け付けることにしている。さらに、希望によっては保護者からの個人面談も何時でも受けることにしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブの理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、放課後児童クラブの存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域へ向けて、理念や基本方針、児童館で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
・当該児童クラブの事務、経理、取引きなどに関するルールは稲城市会計事務規則、契約事務規則に明示されており、それらに沿って実施している。毎年、市監査事務局による決算監査や3～5年毎に実施されている定期監査によって定期的に確認されている。公正かつ透明性の高い適正な経営・運営の実現に向けて、事務などに関するルールや職員の権限、責任などについてはクラブ内の会議において周知を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	放課後児童クラブの事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②**  
【共通評価基準】

**Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献**

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
23	① 放課後児童クラブと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	様々な社会資源(自治会・町内会や民生委員・児童委員(主任児童委員)等の地域組織、放課後子供教室、児童館等)と連携している。
・放課後児童クラブ運営指針に則って、地域との交流を図っている。具体的な取り組みとしては、第四エリアの幼稚園、保育園児、小学校、中学校、市の青少年課の担当者などが出席する四中ブロック地域教育懇談会に出席し、「稲城の子どもに生きぬく力をどう育てるか」について意見交換などに取り組んでおり、地域ネットワークの中で協働できる体制作りがなされていることがうかがえる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブへの理解を得るために、地域の人々と放課後児童クラブとの交流の機会を定期的に設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
・現在はコロナ禍のためボランティア受け入れは実施していないが、例年であれば各種のボランティアを受け入れ、子どもが職員以外の地域の人々と交流できる機会を設けている。具体的には、地域高校生ボランティアや中学生の職場体験などを積極的に受け入れている。また、併設の児童館で開催される「読み聞かせの会」や「看護学部の大生による実習」などの機会を設けている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
25	① 放課後児童クラブとして必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもや保護者等の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
・稲城市の公設学童クラブであり、担当課長は市役所内で開催される諸会議に出席して情報収集に取り組んだり、要保護児童対策地域協議会などにも出席して、関係機関と連携が図れるようにしている。また、係長などのクラブの担当者は、子ども家庭支援センターで開催される地域連絡会に出席し、情報の受発信に取り組んでいる。さらに、クラブの園庭を、近隣の保育園児が午前中などの時間帯に遊べるようにしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	家庭での虐待など権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの発達・生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等により、学校や、保育所、幼稚園等との積極的な連携が図られている。
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブが実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
判断した理由・特記事項等					
・稲城市では公設学童クラブ5事業所が参加する「学童クラブ部会」を開催(年4回)しており、運営上の共通課題を検討する機会を設けている。また、四中ブロック地域教育懇談会では地域の子育て支援に関する共有課題を検討している。それらの機会によって把握した地域の福祉ニーズや生活課題は、市の児童福祉計画の参考にしている。					
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
・学童クラブでは、併設の第四文化センターや児童館と合同で、地域の利用者と一緒に避難訓練水消火器を用いた防災訓練を年1回実施している。また、毎年12月に実施している「大掃除」には地域の人々への参加も得ている。さらに、地域の防災拠点としての対策として防災用品や備蓄品なども用意している。ただし、地域コミュニティの活性化などを目的とした活動を、子どもと一緒に行うかが課題であり、専門的な情報を地域に還元する取り組みが期待される。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブが有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②**  
【共通評価基準】

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

**Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス**

Ⅲ-1-(1) 子どもや保護者等を尊重する姿勢が明示されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
28	① 子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針に、子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
・利用開始時に配付する「学童クラブのしおり」には、「学童クラブの生活や入所にあたっての注意事項」の頁を設け、子どもや保護者などを尊重した対応について明示している。また、保護者の依頼によっては個人面談を何時でも受け付けたり、「学童クラブだより」を発行して、意向や要望を把握している。それらはクラブ内で開催している定例ミーティングで共有している。また、職員には、「子どもや保護者などの尊重や基本的人権への配慮について」などをテーマとした研修を設けて学べるようにしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢が、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
29	② 子どもや保護者等のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等のプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施されている。
・学童クラブでは子どもや保護者の尊厳の尊重やプライバシーへの配慮を学ぶ機会として、職員全員が「個人情報と情報セキュリティ」について「個人情報保護等に関するeラーニング研修」の機会を設けている。研修を受講し、守秘義務の徹底、研修を行っている。さらに職員の服装(ドレスコード)や言葉遣いに関する基準なども設けて遵守を促している。今回行った子どもや保護者を対象としたアンケートの「尊厳の尊重に関する各設問」においても、高い満足度が得られていた。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。
		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
30	① 利用希望者に対して放課後児童クラブ選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	理念や基本方針、実施する育成支援の内容や放課後児童クラブの特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
・学童クラブの情報は、市広報をはじめ市ホームページ、学童クラブ便り、関係機関内の掲示などによって、利用希望者や保護者への情報提供に取り組んでいる。また、利用申し込みは、市役所の青少年課や出張所を窓口としてなされており、それらの窓口においても選択に必要な情報を適切に入手できるようにしている。申し込み時や利用期間中も家庭において携帯が必要とされる「学童クラブのしおり」には、開設日、開設時間、利用対象者、連絡先や施設の様子を詳しく掲載して理解を促している。一方で、申し込みをする際には、事前に見学を促している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	放課後児童クラブの利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用を希望する子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 放課後児童クラブの利用開始・変更にあたり子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブの利用開始・変更の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
・入所申請をする際に保護者へ「学童クラブのしおり」を配付し、学童クラブの概要や諸手続きについての理解を促している。また、概ね2月中には新たな利用希望者を決定しており、3月上旬には説明会や個人面談を開催して、学童クラブの全般について丁寧に説明する機会を設けている。利用契約は1年間としているため毎年契約を交わし、さらに変更時には変更届を提出してもらい確認する流れとしている。配慮が必要な子どもと保護者に対しては、学校などの関係機関と連携を図り、子どもや保護者について情報を共有するようにしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	特に配慮が必要な子どもとその保護者等への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	特に新1年生の環境変化に配慮して、利用の開始の前に、子どもや家庭の状況、保護者等のニーズ等について、把握確認し、放課後児童クラブでの過ごし方について十分に保護者等に分かりやすく説明し、情報交換をしている。
32	③ 評価外				
Ⅲ-1-(3) 子どもや保護者等の満足度の向上に努めている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
33	① 子どもや保護者等の満足度の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等の満足度に関する調査が定期的に行われている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等への個別の相談面接や聴取、懇談会が、子どもや保護者等の満足度を把握する目的で定期的に行われている。
・子どもや保護者などの意向や要望は、保護者の要請によって個人面談を実施して把握している。また、例年であれば保護者会を開催して把握するとともに、説明する機会としている。子どもや保護者を対象とした「満足度アンケート」については、今回の第三者評価のアンケートが初回となっている。			<input type="checkbox"/>	ウ	子どもや保護者等の満足度に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子どもや保護者自身の参画のもとで検討会議の設置等行われている。
			<input type="checkbox"/>	エ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②**  
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(4) 子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。
・学童クラブでは、意向や要望、苦情などについては、口頭、電話、メールなどによって何時でも受け付けることにしており、内容によっては学童クラブから直接回答したり、必要に応じて市の担当課と協議のうえ回答することになっている。今回行ったアンケートの「要望、苦情、相談などについての対応は適切か」の設問に関して高い満足度が得られており、適切な対応がなされていることがうかがえる。さらに、「学童クラブのしおり」にも、苦情受け付け体制を明示することが望まれる。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、子どもや保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た子どもや保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
・子どもの意見などについては、日常の関わりの中で把握している。保護者などの意見については、電話やメール、連絡帳、お迎え時に直接受け付けたり、個別面談などの機会を設けて聞き取っている。また、例年であれば保護会などの機会においても受け付けている。さらに、個人面談を行う際には、プライバシーに配慮できる場所を設定することにしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
		36	子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもや保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。
・保護者や子どもから受け付けた相談や意見は、定例ミーティングで共有するとともに、個別対応を原則としている。また内容によってはその担当課と連携を図り対応したり、「学童クラブだより」の紙面を通じて回答するなど、ケースbyケースの対応を原則としている。ただし、今回行ったアンケートの「子どもに関する悩みなどを相談できると感じるか」や「子どもに関する悩みを相談したことがあるか」の設問に関しては、さらに高い満足度が期待される結果であった。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	意見等にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者を明確化するなどの体制を整備している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
・リスクマネジメントに関する取り組みとしては、災害、事故、緊急時対応などの各種のマニュアルを整備し、事故発生時の対応や安全確保などに取り組んでいる。また、事故発生時には、緊急時対応フローを活用して適切に対応できるようにしている。さらに、都度、インシデントや事故報告書の作成をして改善に取り組んでいる。必要に応じて「学童クラブだより」の紙面によって保護者や子どもに注意喚起を促している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
・感染症対策は主に主任が担当し、学校における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン及び感染症対策マニュアルに沿って対応することになっている。また、新型コロナウイルス以外の感染症や発熱、嘔吐、下痢等が疑われる場合には、手洗い、消毒、マスク着用などを実施するなど、ガイドラインに沿って対応することになっている。ガイドラインの内容については定例のミーティングなどで職員への周知を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	担当者等を中心として、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	災害時の対応体制が決まっている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。
・災害時の対応体制については、第四文化センターとして防災計画を策定しており、定期的に地震、火災、水害などを想定した避難訓練を実施している。また、避難訓練を通じて避難場所、避難経路を確認しており、発生時には適切に対処できるようにしている。保護者に対しては、市のメール配信サービスの登録を依頼して情報共有できるようにしている。さらに、保護者の帰宅困難を想定して宿泊ができるようにしたり、炊き出し訓練などを実施して、職員への注意喚起を促している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、学校、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者等が災害により帰宅困難となった場合の対応方法が決まられ、保護者等と共有されている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書②**  
【共通評価基準】

**Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保**

Ⅲ-2-(1) 育成支援の標準的な実施方法が確立している。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
40	① 育成支援について標準的な実施方法が文書化され育成支援が提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
・指導や行事計画をはじめ、各種の業務を標準化することを目的に、年間指導計画、行事予定、ガイドライン、手引き書、業務フローなどを設けている。また、内容によっては毎年見直したり、必要に応じて適宜見直すことに加え、定例ミーティングなどの機会を通じて職員への周知を図っている。また、ガイドラインには、子どもや保護者の尊厳の尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢について明示し、職員への注意喚起を促している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。
・ガイドラインをはじめ、手引き書、業務フロー、指導計画作成の手順などについては、稲城市の公設学童クラブとして標準化して実施している。それらの見直しが必要になった際には、定例の学童クラブ部会（年間4回開催）において検証することとしている。また、必要に応じて、市の担当課の部課長を交えて協議を行うこととしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	検証・見直しにあたり、育成支援の計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	検証・見直しにあたり、職員や子どもや保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 子どもに対する育成支援の計画が策定されている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
42	① 育成支援の計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	育成支援の計画策定の責任者を設置している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	育成支援の計画には、子どもの具体的なニーズが明示されている。
・毎年、年間指導計画を策定しており、指導目標をはじめ、月間・学期別指導目標（遊び・生活・集団指導等）、行事を明示している。また、配慮を必要とする子どもについては保護者や本人の疾病、心身障がいなどを把握し、さらに教育機関（特別支援教室など）と情報交換を行い適切な対応ができるようにしている。また、おやつや昼食（お弁当）を提供することを踏まえ、食物アレルギーなどの状況なども入所時面談で把握して、適切な支援が提供できるように、定例ミーティングなどを通じて情報共有に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	育成支援の計画を策定するため、職員の合議と子どもの意向把握の手順を定めて実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	育成支援の計画どおりに育成支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	障害のある子どもや特に配慮を必要とする子どもへの対応について検討し、積極的かつ適切な育成支援の提供が行われている。
43	② 定期的に育成支援の計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	育成支援の計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握を行うための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	見直しによって変更した育成支援の計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
・年間指導計画には指導目標を掲げ、月間・学期別指導に落とし込み育成に取り組んでいる。次年度計画の作成については、前年の反省点等を反映させ、指導計画を見直す際には定例ミーティングなどの検証を踏まえて行うこととしている。指導計画や行事の進捗や達成状況については、定例のミーティングなどを通じて行うこととしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	育成支援の計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、育成支援を十分に提供できていない内容（ニーズ）等、育成支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
Ⅲ-2-(3) 育成支援実施の記録が適切に行われている。		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
44	① 子どもに関する育成支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	育成支援の計画にもとづく育成支援が実施されていることを記録により確認することができる。
・子どもの身体状況や生活状況などは日々記録を残して把握している。指導計画の進捗状況については、日誌に記録している。これらの記録内容や書き方に関しては、定例のミーティングなどで職員間で共有し、記録内容に差異が生じないように配慮している。また、係長は職員に声かけをして相談に応じたり、子どもの様子に変化が生じた際には適宜報告を受けて支援方法を確認し合うこととしている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	② 子どもや保護者等に関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもや保護者等の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
・子どもや保護者などに関する情報は、育成日誌に個々の姿や気になる場面についても記録して職員間で共有できるようにしている。市の文書管理規定や個人情報取扱規定に則り、組織的に管理している。職員は個人情報保護研修に参加して理解を深め、適切な対応ができるようにしている。子どもや保護者に対しては、入所時面談で説明をし理解を促している。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。

# 放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書③

## 【内容評価基準】

### 【報告書作成にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考にしてください。
- 評価結果は、「評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「☐・☑」)。

### A-1 育成支援

A-1- (1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☐にチェック)	
A①	① 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している。	a	☑	ア	生活の場としての機能を満たすための設備及び備品等を備えている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	遊びを豊かにするために必要な遊具及び図書を備えている。
・育成室は、登所前に点検し、安全安心な放課後の居場所となるように努めている。グループごとに分かれて活動できるようテーブルが設置され、手洗い場、ロッカー、本棚などは低学年の児童でも使いやすい高さになっている。外遊びのできるスペースがあり、栽培活動などにも取り組んでいる。 ・1日の活動内容には、学習の時間を設け、宿題や読書を行っている。3週間に1度、図書館に本を借りに行く(団体貸し出し)を行っている。異年齢の友達や少人数でも遊べるようなゲームなどの遊具を用意しており、児童の希望を聞きながら毎年予算の中で購入している。			☑	ウ	発達段階に応じた遊びと生活の環境を備えている。
			☑	エ	体調が悪いときなどに静養できるスペースが確保されている。
			☑	オ	自習等の学習活動ができる環境を整えている。
			☑		
A-1- (2) 放課後児童クラブにおける育成支援		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☐にチェック)	
A②	① 子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。	a	☑	ア	入所時や長期休み前等に、子どもが放課後児童クラブでの過ごし方を理解できるように工夫している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	子どもの様子と育成支援の内容を日常的かつ継続的に保護者に伝えている。
・入所時(1年生)には、基本的な生活の流れについて丁寧に伝えながら導入を手助けしている。4月1日より受け入れており、入学式前から通うことで環境に慣れることができるように配慮している。グループ分けでは同じ小学校の児童同士にして学期ごとに様子をみながら変更をしている。 ・保護者には、おたより、連絡帳、迎えの際に児童の様子を伝えている。コロナ禍で、入所説明会、保護者会は実施できなかったため、希望者には個人面談を行い、連携を図っている。			☑	ウ	放課後児童クラブに通う事の必要性について、保護者と共に子どもの気持ちに寄り添いながら理解を促している。
			☑	エ	保護者が年度途中の転居以外で退所を検討している際、その理由を把握し、対応を行っている。
			☑		
A③	② 子どもの出欠席を把握し、適切に援助している。	a	☑	ア	子どもの出欠席について、保護者からの連絡であらかじめ確認している。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	子どもの出欠席について、当日の変更についても確認できるようにしている。
・当日の欠席について、保護者からの連絡が無い場合は、優先順位に従って、電話で児童の所在を確認している。当日の連絡については、電話やFAX等でも可能な旨を説明している。			☑	ウ	子どもが保護者からの連絡なく欠席したり来所が遅れたりした場合に、速やかに状況を把握し対応している。
			☑	エ	子どもの所在が把握できない場合の対応を検討し、あらかじめ保護者へ伝えている。
A-1- (3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援		評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☐にチェック)	
A④	① 子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している。	a	☑	ア	放課後児童クラブでの過ごし方は、できるだけ簡潔でわかりやすいものとし、子どもが理解できるようにしている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	子ども一人ひとりにとって無理のない過ごし方となるよう配慮しながら、子ども全体に共通するおまかな過ごし方や生活時間の区切りをつくっている。
・夏休み等の育成期間には、1週間ごとに様々な製作活動を取り入れ、目標のある取り組みによって達成感を得ることができるよう工夫している。また、1年を通して、季節の製作や遊びを計画している。 ・進級時には、一人ひとりにアルバムを渡しており、日頃の活動やイベントでの写真、作品、家庭からのメッセージと支援員のメッセージが1冊にまとめられている。			☑	ウ	子どもと話し合いながら、遊びや生活の流れや内容を柔軟に活用して子どもが放課後の時間を主体的に過ごせるように援助している。
			☑	エ	子どもが集団の中での過ごし方について自分自身で考えられるように工夫している。
			☑	オ	放課後児童クラブにおける過ごし方や生活時間の区切り等を保護者に伝えている。
			☑	カ	学校が長期休みとなる期間には、夏休み等ならではの過ごし方や活動の工夫や配慮を行っている。
A⑤	② 日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるように援助している。	a	☑	ア	日常生活に必要な基本的な生活習慣の内容を、子どもが理解できるように伝えている。
判断した理由・特記事項等			☑	イ	健康や衛生に関すること(手洗いやうがい、衣服の着脱等)が身につくよう援助している。
・1日の流れや予定、係活動などについて掲示で知らせ、時計を見て確認しながら見通しをもって生活できるように援助している。係活動、号令当番を順番に担当することで、決まりを守ることを、協力することの大切さなども伝えている。 ・入室後は手洗いをすることが習慣となるように伝えているほか、自分の持ち物を管理出来るよう、定期的にロッカー、道具箱の中、衣服の衣替え等の整理整頓ができるように声をかけている。			☑	ウ	持ち物の管理や整理整頓等の生活習慣が身につくよう援助している。
			☑	エ	子どもたちが集団で過ごすという特性を踏まえて、集団生活を維持するための活動を分担・協力することを理解できるよう工夫している。
			☑	オ	一人ひとりの発達状況に応じた援助とともに、取り組みやすい環境の工夫をしている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書③**  
**【内容評価基準】**

A⑥	③ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども一人ひとりについて、その発達の状況や養育環境の状況等を把握する必要性を理解している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	年齢や発達の状況、その時々の子の心身の状況に応じて、子ども自身が遊びを自由に選択できる環境を整えている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おかえり」と声をかけて登所を受け入れている。支度の際には、一人ひとり検温し、顔色や声を確認し、いつもと様子が違う場合は、体調はどうかなど聞き取るようにしている。新1年生においては、当初、1年生を迎える会を行うなど、楽しめるように配慮している。</li> <li>・けん玉検定、お手玉検定を取り入れ、遊びながら楽しくその技術が向上するような取り組みがある。児童による手作りの学童かるたも作成中である。</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの来所時には、子どもが安心してできるように迎え入れ、子ども一人ひとりの心身の状態を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの普段の健康状態や心身の状態についての特徴を把握し、放課後児童支援員等間でその情報を共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	静養や気分転換が必要なことに気づいた時に、適宜対応できるようにしている。
A⑦	④ 子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように援助している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見の対立やけんか等について、お互いの考え方の違いに気付くこと、葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを知ること、自分の思いを話せるように、まずは支援員が話を聞くようにしている。子ども同士で、上手く伝わらない場合は、支援員が代弁して思いを確認するなど、一人ひとりに寄り添う支援に努めている。</li> <li>・子ども同士のトラブルは、その日のうちに解決できるように援助しており、納得して帰宅することで、元気に登所してもらえるように配慮している。</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子ども間でいじめの関係が生じないよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	問題が起きたときには早期対応に努め、保護者や関係機関と連携を取りながら適切に対応するよう努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。
A⑧	⑤ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるよう援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもの意見を尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが放課後児童支援員等に悩みや相談事も話せるような信頼関係を築くように努めている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活や遊びの中で、子ども同士の意見の食い違い等がある時は、まずは近くで見守り、必要に応じて、自分の思いを表現できる様、支援員が仲立ちをしている。言葉で伝えることの大切さについても、わかりやすく伝えるようにしている。</li> <li>・お楽しみ会では2年生が中心となりゲームやメニューを考え、3年生が進行役になるなど、行事では、興味や関心を取り入れながら楽しく取り組むことができるように工夫している。</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	行事等を行う際は、子ども同士が意見を出し合う機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子どもと保護者に活動の目的や大まかな内容を説明している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。
A-1-	(4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>		評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
A⑨	① 障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	障害のある子どもの利用機会の周知を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	受入れの判断について、あらかじめ判断の基準や手続等を定めている。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身に障害等のある児童を各施設概ね2名まで受入れをしている。育成については、原則個別対応ではなく、集団育成とし、状況に応じて職員の加配で対応している。</li> <li>・入所審査時に、保護者の同意を得て、就学支援ファイル一式、児童生徒状況報告書の写しを提出してもらい、特性や集団活動で配慮すべき事案について、情報共有に努めている。継続して入所を希望する児童については、支援員が、生活状況記録票を作成し、ケース検討会議を行っている。</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの受入れにあたっては、障害特性を理解した上で、子どもや保護者との面談の機会を持つなどして、子どもの健康状態、発達の状況、家庭の状況、保護者の意向等を個別に把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	障害のある子どもの、個々の状況に応じた施設設備や育成支援の内容、職員体制等の環境の整備に関する配慮等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。
A⑩	② 障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	障害のある子ども一人ひとりの状況や育成支援の内容を記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	記録した内容を、放課後児童支援員等間で共有している。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の打ち合わせ、月1回のミーティングにて、一人ひとりの発達の特徴や、現在の姿について確認しており、支援員同士での共通理解と一貫した対応を心がけている。室内には仕切りをして小さなスペースを確保し、クールダウンが必要な場合に利用できるようにしている。</li> <li>・育成日誌に毎日の指導記録と特記事項を記録し、連絡ノートにおいても情報共有に努めている。小学校や保護者からの連絡事項なども記録している。</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの育成支援について事例検討する機会を持っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	学校を含む他機関との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。
A⑪	③ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は、子どもの家庭環境についても配慮し、家庭での養育等について特別の支援が必要な状況を把握した場合には、市町村や関係機関と連携して適切な支援につなげている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブでの生活に特に配慮を必要とする子どもの支援に当たっては、保護者、市町村、関係機関と情報交換を行い、連携している。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の家庭環境などにも配慮をしており、洋服、髪、衛生状態などの把握に努め、職員間で情報共有している。また、子ども家庭支援センター、教育委員会とも連携し、事案については速やかに対処している。</li> <li>・虐待防止マニュアルでは、早期発見から通告までの流れが明示されており、その内容を職員全体に周知している。</li> </ul>		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	児童虐待を発見した後の市町村等への通告の手順や、緊急性があると思われる場合の対応と手順についてあらかじめ定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	要保護児童対策地域協議会及び関係機関の構成員となるなど、関係機関と連携、協力できる体制を構築している。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書③**  
**【内容評価基準】**

A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑫	① 放課後の時間帯におやつを適切に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブとしてのおよつの役割を考慮して、およつの提供時間や方法を工夫している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもたちの状態等を考慮して、およつの内容を工夫している。
・おやつでは、季節感を大切に食材(サツマイモ、梨など)や収穫した野菜、夏にはアイスクリームなども提供している。 ・コロナ禍においては、パーテーションを使用し黙食が続いているが、透明な窓から顔が見えるようにして、笑顔や、指でのジェスチャーで「おいしいね」と表現し、グループ同士で意思疎通を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	落ち着いた環境でおよつを楽しめるようにしている。
A⑬	② 食に伴う事故(食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等)を防止するための対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に伴う事故(食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等)の緊急時対応のマニュアルを整備し、全職員に周知している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	すべての子どものアレルギーの有無を利用開始までに調査し、アレルギーのある子どもについては全職員で情報を共有している。
・すべての児童のアレルギーの有無について、利用開始までに確認しており、全職員で情報共有をしている。食物アレルギーのある児童に対しては、ガイドラインの活用、アレルギー児童の周知を行っている。また、アレルギー対応に関する研修に参加し意識を高めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	食物アレルギーのある子どもへのおよつや食事の提供について、対応方針を定め、定期的に保護者と相談し決定して調整を行ったうえで、子ども・保護者と緊急時の対応を共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食物アレルギー等の対応方法に関する基本的な事項について、定期的に訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	窒息事故等がないよう、安全確認を徹底し、危機管理体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食中毒防止のための点検項目を定めている。
A-1-(6) 安全と衛生の確保		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑭	① 子どもの安全を確保する取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	毎日子どもが来所する前までに、施設整備や遊具等の安全点検、整理整頓、清掃等を行っている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	安全管理に関する点検について、点検項目、点検頻度、点検者を定め、定期的に点検を行っている。
・毎日の清掃、降所後に遊具を消毒し、点検を行っている。 ・事故等発生の場合の対応は、「指導事務手引」にフローチャートでの記載、保険の請求についても記載をしている。 ・災害時・緊急時の対応は、「指導事務手引」に記載をしている。「学童クラブのしおり」にも災害時・緊急時の対応について記載をしており、入所説明会にて保護者へ説明をしている。 ・防災・防犯対策については、年間指導計画の中に位置付け、定期的に避難訓練等を実施している。水防訓練では、避難所となる第一中学校まで、職員が避難ルートを徒歩で確認し、おたよりにて周知、学童内にルートを記載した地図の掲示をしている。 ・保護者に、緊急連絡カードを記入してもらっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	放課後児童クラブにおける事故やケガの防止や発生時の対応についての方針を策定している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの来所経路や帰宅経路における安全確保について、計画及びマニュアルを作成し、保護者に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域組織や子どもに関わる関係機関等に、子どもの来所・帰宅の経路等を伝え、地域の人々の理解と協力を得られるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの主な行動範囲を中心とした地域の中での子どもの行動や環境を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもの病気やケガの場合、保護者と連絡をとれるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	事故やケガが発生した場合、その発生時刻や場所、その内容や対応の経過について正確な時刻の記述も含めて記録している。
A⑮	② 衛生管理に関する取組を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設整備の衛生に関して、点検項目、点検頻度、点検者を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	衛生管理に関する点検を定期的に行っている。
・支援員は、検温し、検温表に記入している。家庭では、連絡帳に貼ってある検温表に記入してもらい、学童で確認するとともに、登所時の検温を行う。手洗い、手指消毒をしている。常時、室内の換気を行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもと共に日常の衛生管理に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもが調理や準備をする際の衛生管理を徹底して行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	放課後児童支援員等の手洗いや爪切り、消毒等の衛生管理を徹底している。

**A-2 保護者・学校との連携**

A-2-(1) 保護者との連携		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑯	① 保護者との協力関係を築いている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
判断した理由・特記事項等			<input type="checkbox"/>	イ	保護者が放課後児童クラブの活動や行事に参加、協力する機会を設けている。
・児童だけでなく、保護者の負担を減らすことができるように、支援員として心がけており、お弁当の負担なども少しでも減らすように活動の工夫をしている。 ・コロナ禍では、保護者会で集まることは控えているので、お迎え時、連絡帳、個人面談等で相談しやすい体制に努めている。昼食会は児童のみで実施している。			<input type="checkbox"/>	ウ	保護者会や保護者が参加する活動や行事の機会を工夫して、保護者同士の交流の場を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保護者が放課後児童クラブの運営に協力する関係を築いている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	宿題への対応について、保護者と共通の理解を持てるようにしている。

**放課後児童健全育成事業版 評価結果報告書③**  
**【内容評価基準】**

A-2-(2) 学校との連携		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑰	① 子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの生活の連続性を保障するための学校との情報交換や情報共有を日常的に図っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	毎日の子どもの下校時刻や学校の行事等の予定について、学校と情報交換し、連携している。
	・小学校と、在籍児童について、必要に応じて情報交換を行っている。 年度当初には、学童児童の名簿、支援員の名簿等を学校長へ持参し、挨拶をしている。学校側からは、学校だよりを毎月もらい、行事予定を確認している。 ・配慮が必要な児童においては、学級担任にも学校生活の状況を聞いたり、情報共有に努めている。		<input type="checkbox"/>	ウ	子どもの来所経路や帰宅経路における緊急時の連絡方法について、学校と情報交換し、連携している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもに関する情報を提供をしたり情報を得たりする際の、個人情報の保護や秘密の保持についてあらかじめ学校と取り決めてしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもや家庭の状況に変化や問題が生じた際には、連絡調整ができる関係を学校と構築している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	学校との連携に関する担当者を置いている。

**A-3 子どもの権利擁護**

A-3-(1) 子どもの権利擁護		評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
A⑱	① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職場倫理を具体的に明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブにおける虐待等の子どもの心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見について、明確な規定を設けている。
	職場倫理については就業規則に明示するとともに、研修を通して学べる機会を設けている。職員による適切な(または不適切な)言動に関して就業規則に明記し、具体的な内容については研修で理解を促している。また、虐待や虐待に類似する事例が発見された際には、ガイドラインに沿った対応を原則としている。さらに、市主催やクラブ内研修によって理解を深めるとともに、子どもの権利については「セーフティーゾーン」や「してはいけない言葉かけ」について、連絡ノートやミーティングで周知を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職場倫理を研修等で共有し、遵守状況を確認している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止について研修等を実施し、職員間で共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	権利侵害の早期発見と対処のための具体的な取組を定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもに影響のある事柄について、子どもが意見を述べ、参加することを保障している。